

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	アスレチックてるてる			
○保護者評価実施期間	令和6年9月2日		～	令和6年9月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和6年9月2日		～	令和6年9月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年9月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	さまざまな活動を取り入れている	外活動ではボール・サッカー・遊具遊び等、室内では制作・サーキット等を行い、さまざまな角度から支援している。	公園の選択肢を増やすことと室内での活動の幅を広げる。
2	集団でのメイン活動に参加できない場合の対応	どうしても集団で行うメインの活動に参加できない場合(サッカーでの集団活動等)は、できる範囲で個別で対応している。(個別でバスをする等)	まずは集団活動に入れるような活動内容を提供できる工夫を行う。
3	個別でのサポート	勤務等で送迎の時間に帰宅できない場合は送迎の順番を工夫することや長期休暇では延長の対応等、可能な範囲で利用しやすい環境を提供している。	空きが出たり、振替可能な日があれば早い段階で連絡をする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に対する支援	毎月LINEにて相談の受け入れの案内を送ったり、保護者会は定期的に開催しているがその周知がうまくいっていないと感じる。	保護者会の案内については口頭で行うようにする。
2	個人スペースの確保	事業所のスペースが活動スペースとスタッフルームのみの間取りになっているため。	パーテーションを利用した空間づくりやポップアップテントの購入を検討し、必要に応じてパーソナルスペースを作成する。
3	地域との交流	当事業所で行う活動を優先しているため。	地域や他事業所の活動情報に目を配り、参加できそうな催しがあれば状況に応じて参加を検討する。